# 株式会社ハーマン

会社案内

# 業界初の技術に挑戦し続ける

1930年（昭和5年）前身の（株）陽栄製作所（ダンホット）が創業して以来、私たちは豊かで住みよい社会のため、皆さまのご家庭で便利に安心してお使いいただける安全・環境に配慮したガス機器のご提供を目指して取り組んでまいりました。

今日、わが国ではエネルギーの多様化が進展し、従来にも増してガス機器への期待が高まっております。
私たちはその期待に応えるべく、「業界初の技術」に挑戦し続け、魅力的で特長のある新製品開発に注力してまいります。

しかし、「技術」だけではそれがいくら革新的なものであっても、心まで豊かにできるとは限りません。より安心・安全で環境にやさしい商品やサービスを提供する事により、そこには「人」とのバランスのとれた「調和」があってこそ、ほんとうに喜んでいただける製品になると思っております。
それがハーマンの目指すところです。

私たちは、これからも人と技術の調和する

「生活環境の創造」で

「暮らしに新たな喜びと感動」を

提供し続け、社会に貢献いたします。

代表取締役社長
**水野 誠**

## くらしと技術のいい関係

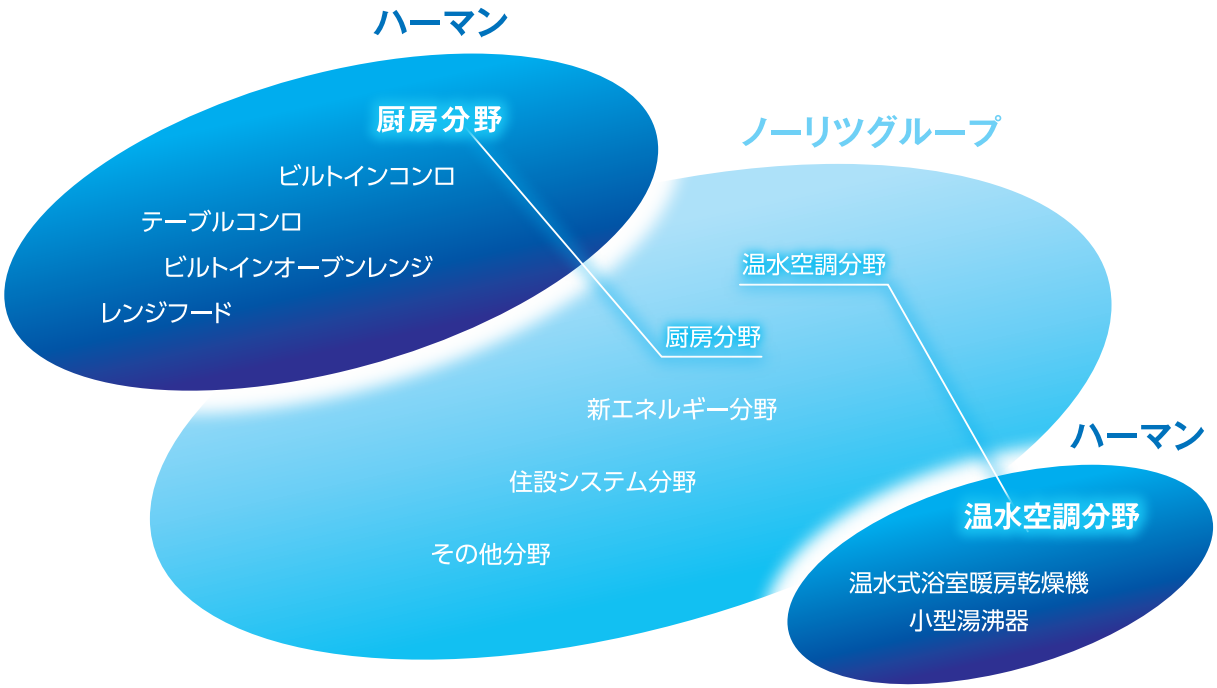
HARMAN

HUMAN・HARD・HARMONYの3つの語源から
創造された【HARMAN】。
快適な暮らしの中にうるおいを求めて
いつまでも変わらないハートで感じ合える
人間のぬくもりを持った
新しい生活提案型企業を目指します。

モノ作りの遺伝子を、さらに進化させる

# ノーリツグループの中核企業として、「厨房 分野」を担う

ノーリツグループは「新しい幸せを、わかすこと」をグループミッションに掲げています。
そして、住生活における優れた感動価値の創造に全員でチャレンジし、
「人と地球の笑顔に向けて、暮らしの感動をお届けすること」を目的に、
世界中のお客さまと感動を共感できる企業活動を行います。



## 厨房機器

ビルトインコンロ

テーブルコンロ

## 温水端末機器

温水式浴室暖房乾燥機

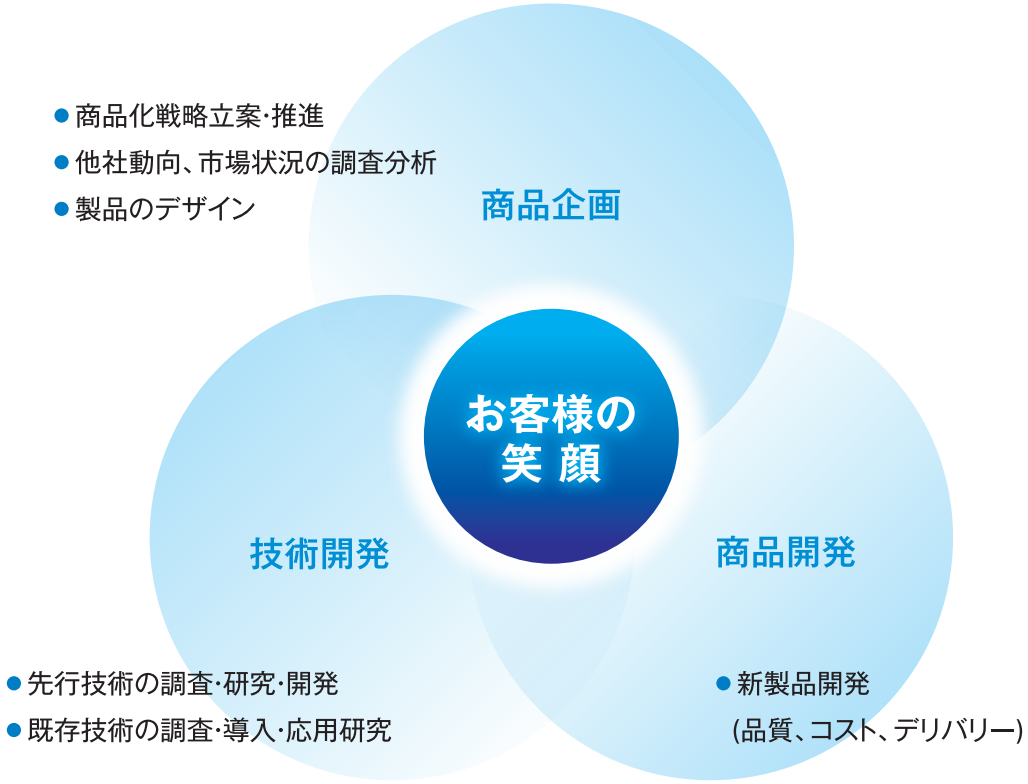
## 給湯機器

小型湯沸器

高付加価値な商品、オンリーワンの商品を

# お客さまの喜び・感動を求めて開発に取り組む

商品開発部門では、商品の企画段階から設計段階までスピーディーに展開できるよう、「商品企画」「商品開発」「技術開発」の3つのセクションが緊密に連携しています。
企画部で集約したお客さまのご要望「ニーズ」と、技術開発部が創りだす新たな技術「シーズ」を、商品開発部で融合し、他社にない、新しい商品をタイムリーに開発。
お客さまの喜ぶ顔、感動する姿を身近に感じられる商品を常に作り出していく。
それが、私たちの仕事です。



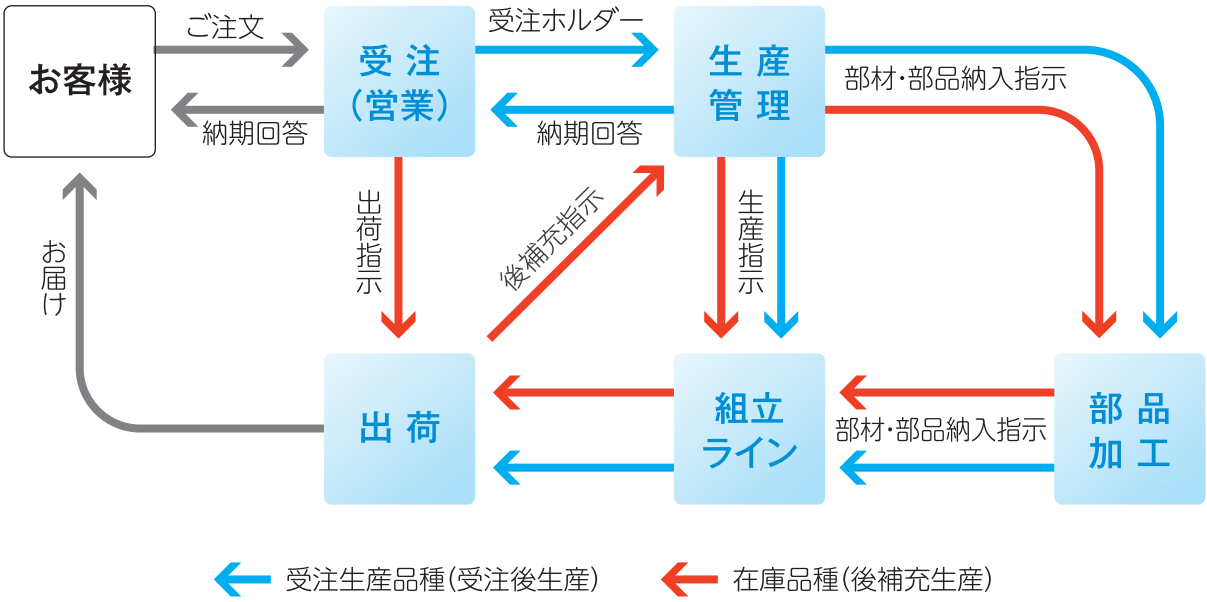
暮らしに新たな喜びと感動を

# 経験と積み重ねの上に成り立つ HPSで、品質、生産性の向上を目指す。

生産部では、「必要なときに、必要な商品を、必要なだけ生産」する「HPS（Harman Production System）」という生産システムを導入しています。
生産技術部において、商品開発部と連携しながら生産する商品に応じた設備やシステムを構築し、生産部へと引き渡します。
生産部では、原材料から加工、組立、検査、管理など、すべてのセクションでムダを排除し、生産性を向上。
また、検査機器等による徹底した品質管理に務め、高品質な商品を供給しています。

## HPS Harman Production System

●HPS活動の流れ



# 一つひとつの商品が常に高品質であるために

# 沿革と業界初商品ご紹介

国産品 第1号

1930年
## 湯沸器「R−121」を開発

**小型ガス湯沸器の国産第1号**

ガスを使うのは、まだ贅沢だった時代、業務用（ホテル、レストラン、理髪店等）の瞬間湯沸器を開発。ボイラーと違い、時間と場所を取らない、驚きの湯沸器。丈夫で壊れないと好評価でした。

業界初

1966年
## 圧電点火式コンロを開発し、太田賞を受賞

**ガスコンロの革命!**
**マッチ点火から自動点火へ**

片手に火の付いたマッチ、もう一方の手でゆっくりとガスコックをひねって点火。でも、つまみを押し回すと「カチッ、ボーッ」と火が付くコンロが登場。台所から大きなマッチ箱が姿を消しました。

業界初

1970年
## 両面焼グリル付コンロを開発

**魚を裏返す手間を省き、片面焼の半分の時間で焼きあがる両面焼**

今では一般的になった両面焼も、当時は高額で販売も伸び悩み。ただ、子どもの「おなか空いた〜」の声に早く応えたいという親心を捉え、「魚を焼くのが半分の時間」という言葉が共感を得ました。

国産品 第1号

1978年
## システムキッチン用ビルトインコンロを開発

**現在のメイン事業となったビルトインガスコンロは、業界初**

1973年、システムキッチンが日本に初登場。高額でガス種も限定される輸入品に代えて、今後大いに伸びが期待できるビルトインコンロを国産で初めて製造。今の時代にも通用する洒落た外観でした。

業界初

1981年
## 業界初の後方排気式グリル付コンロ「クリサット」を開発し、太田賞を受賞

**グリル排気が後方なので、お鍋の取っ手が溶けたり、熱くならない**

コンロ中央にあった排気口。でも両面焼グリルでは排気温度が上がり、取っ手が熱くなったり、開口部から入り込む煮汁で故障したり。鍋にも人にも優しい、業界初の後方排気式はとても注目されました。

業界初

1996年
## ガス温水式浴室暖房乾燥機多機能タイプを開発

浴室の暖房乾燥機能に加え、脱衣室暖房、2室3室換気、24時間換気機能など、多くの機能を1台に集約した新製品を開発。その後の浴室暖房乾燥機のスタンダードとなりました。

2003年
デザインコンロの先駆けスタイリッシュブリンクを開発

2004年
業界初のミストサウナ浴乾を開発

2014年
ビルトインコンロ生産累計1,000万台達成

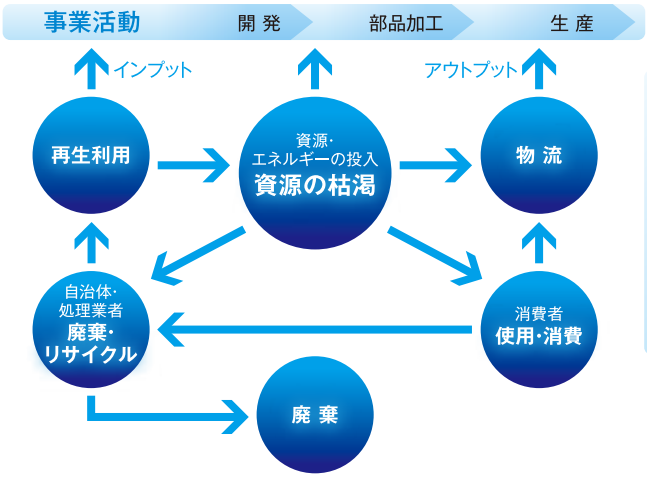
2016年
スマートコンロが日本ガス協会技術大賞受賞

# 環境への取り組み

ハーマン本社は原材料から開発・生産・使用・廃棄といった製品のライフサイクル全般にわたって、環境に対してどのような影響があるのかを評価し、環境負担低減への取り組みを行い、環境に配慮した商品の開発・生産を行っています。

ISO14001
認証取得

## 事業活動と環境との関わり




**環境への影響**
- 地球温暖化
- 大気汚染
- 水質汚濁
- 土壌汚染
- 騒音・振動
- 廃棄物

## 環境負担低減への取り組み

### 研究開発

**環境配慮商品の開発**
- 省エネ型商品の開発
- 有毒化学物質削減設計
- 省資源設計
- 包装材の工夫
- リサイクル性の向上

**アセスメントガイドラインによる事前評価**
**グリーン購入・調達など**

### 部品加工・生産

**省エネルギーの推進**
**有毒化学物質の管理**
- PRTR法の遵守

**廃棄物の削減**
- ゼロエミッションの推進

**グリーン購入・調達など**

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 社　　名 | 株式会社ハーマン |
| 本社・工場 | 〒554-0023　大阪市此花区春日出南3-2-10<br>TEL. 06-4804-8630(代表)　FAX. 06-6466-6401(代表) |
| 資 本 金 | 3億1,000万円 |
| 業　　績 | 244億円(平成29年度売上) |
| 主要取引先 | 大阪ガス(株)、東京ガス(株)等の全国ガス会社様<br>パナソニック(株)、TOTO(株)、(株)LIXIL、クリナップ(株)等のキッチンメーカー様 |
| 設　　立 | 平成13年9月　(創業は昭和5年) |
| 系　　列 | 株式会社ノーリツ　グループ　(東証一部上場) |
| 従業員数 | 652名　(男495名／女157名)　平成30年1月現在 |
| 事業内容 | システムキッチン用ビルトインコンロ、テーブルコンロ、浴室暖房乾燥機、小型湯沸器等の開発・製造・販売 |
| 役　　員 | 代表取締役社長　水野　誠 |
| | 取締役　岡田　光義 |
| | 取締役　内川　勝弘 |
| | 取締役　方違　良孝 |
| | 取締役(非常勤)　仲村　貴文 |
| | 取締役(非常勤)　廣岡　一志 |
| | 監査役　畑中　啓延 |
| | 監査役(非常勤)　綾部　剛 |

## 交通アクセス

### 電車でお越しの場合

**JRより**
JR環状線「西九条」駅よりJRゆめ咲き線へ乗りかえ、「安治川口」駅下車　徒歩約10分

**大阪市営地下鉄より**
中央線「弁天町」駅でJR 環状線外回り電車に乗りかえ、「西九条」駅より、ゆめ咲き線「安治川口」駅下車　徒歩約10分

**近鉄電車、阪神電車より**
阪神なんば線「西九条」駅よりJRゆめ咲き線へ乗りかえ、「安治川口」駅下車　徒歩約10分

### お車でお越しの場合

阪神高速　5号湾岸線の島屋出口で降り、そのまま直進し、島屋交差点を右折
JRゆめ咲き線の踏切を越え、道なりに約300m直進、左手すぐ

本社事務所・研究開発棟

生産工場

〒554-0023 大阪市此花区春日出南3-2-10
TEL. 06-4804-8630(代表)　FAX. 06-6466-6401
http://www.harman.co.jp/